

重要取組シート

教育委員会事務局
教育センター 能力開発課

取組項目	学力向上の推進
現状・課題	<p>【現状】</p> <p>○本市では、学習指導要領をふまえ、子どもたちの学力を資質・能力で整理し、総合的な学力（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力・人間性等）として捉え、その向上をめざしている。</p> <p>※認知能力＝①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等 非認知能力＝②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力・人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査において全国平均を100とした場合、国語、算数、数学を合わせた正答率の割合を指標としており、令和7年度に小学校6年生で103、中学校3年生で100と設定している。令和3年度は、小学校6年生は100.8、中学校3年生は96.1である。 ・全国学力・学習状況調査において正答率が40%未満の児童生徒の割合において全国平均を100とした場合、令和3年度は小学校6年生の国語は97.2、算数は92.8、中学校3年生の国語は138.7、数学は113.9である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学力の一つの指標として全国学力・学習状況調査をもとに測定をしているが、中学校は全国を下回っている。 ・全国学力・学習調査における学力低位層（正答率が40%未満の児童生徒）を全国と比較すると、割合が高い。 ・総合的な学力のうち、非認知能力については、効果的な育成方法等を含め十分な研究がなされていない。
取組の内容	<p>○個々の子どもたちの総合的な学力の向上に向け、日々の教育活動で培われた教員の指導力と、それを支えるEBPM（証拠に基づく政策立案）の観点をもつたデータ活用の仕組みを構築する。今年度は、教員の知識・経験に基づく指導力をより確かなものにするために、認知能力と非認知能力の両面で客観的な各種調査等のデータを活用した取組を行う。</p> <p><u>全ての小中学校を対象とした取組について</u></p> <p>○総合的な学力の向上に向けて、市教委、学校管理職、担任等の立場に応じた検証改善サイクルに基づいて取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査、小学生すくすくウォッチ、中学生チャレンジテスト、CBT（コンピュータを使った試験方式）による学習・生活状況調査の結果と関連させた総合学力プロフィール及び検証改善分析シートや個人票を活用して、市全体の学力分析・効果的な取組検討及び自校の学力分析・効果的な取組検討、個人懇談等での児童生徒の長所や短所の共有・児童生徒への総合的な学力向上に向けた働きかけを行う。 ・特に、個別最適な指導・学びにつなげるため、個人票を活用した教員と児童生徒との共通理解を図る仕組みの構築と取組を強化する。また、各学校における前年度の取組内容と今年度の調査結果をふまえた分析・取組検討を強化する。 <p><u>モデル校等を対象とした取組について</u></p> <p>○総合的な学力の向上に向けて、以下の3つに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈IRT（項目反応理論の手法を活用した調査）〉

	<p>個々の子どもの学力の伸びの把握と効果的な取組の実践に向けて、モデル校7校においてIRTの実施及び分析を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈RST（読解力調査）〉 「理解し、活用し、熟考する読解力」の向上に向けて、モデル校3校においてRSTの実施及び分析を行う。【新規】 ・〈非認知能力育成〉 総合的な学力向上にかかわる非認知能力の育成に関して、モデル校において育成プログラムの研究を行う。【新規】 		
スケジュール	全ての小中学校を対象とした取組	モデル校を対象とした取組	
	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> (4月) 全国学力・学習状況調査(小6、中3)実施 <input type="checkbox"/> (4月) 大阪府小学生すくすくウォッチ(小5、小6)実施 <input type="checkbox"/> (7月) 全国学力・学習状況調査結果返却及び分析 <input type="checkbox"/> (7月) 大阪府小学生すくすくウォッチ結果返却及び分析 <input type="checkbox"/> (7月～3月) 小中学校は各種学力調査等返却ごとに、自校の学力分析を実施し、検証改善分析シートを作成・更新 <input type="checkbox"/> (7月～3月) 小中学校で自校の学力分析に基づいた取組の実施。	【IRT】 <input type="checkbox"/> (5月) モデル校(小5、小6、中2、中3)で調査実施 【RST】 <input type="checkbox"/> (5月) モデル校(小5、小6、中1、中2)で調査実施 ※読解力6項目の市・学校・個人の調査数値と全国比較等 <input type="checkbox"/> (5月～3月) 調査結果に基づいた取組開始 【非認知能力育成】 <input type="checkbox"/> (4月～7月) 研究内容の検討 <input type="checkbox"/> (4月～7月) モデル校の選定
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> (8月) 総合的な学力向上に関する説明会実施(各種調査の分析結果、各学校における好事例、IRT・RSTなどの市教委の取組の説明) <input type="checkbox"/> (9月) CBTによる堺市学習・生活状況調査(小3～中3)の実施 <input type="checkbox"/> (9月) 大阪府中学生チャレンジテスト(中3)の実施 <input type="checkbox"/> (10月) 大阪府中学生チャレンジテスト(中3)の結果返却及び分析 <input type="checkbox"/> (11月) 総合学力プロフィール(学年・学級・個人)と個人票を小中学校へ提供 <input type="checkbox"/> (11月) 小中学校は総合学力プロフィール(学年・学級・個人)の分析、検証改善分析シートの更新	【IRT】 <input type="checkbox"/> (8月) 結果返却及び分析 <input type="checkbox"/> (10月～3月) 効果的な取組を全校で実施 【RST】 <input type="checkbox"/> (8月～9月) 読解力6項目と各種学力等調査の相関について分析 <input type="checkbox"/> (10月～3月) 分析に基づいた精度の高い取組実施 【非認知能力育成】 <input type="checkbox"/> (8月～3月) モデル校で非認知能力育成プログラムの研究の実施
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> (12月) 小中学校は総合学力プロフィール(個人)や個人票を活用して個人懇談を実施 <input type="checkbox"/> (12月) 小中学校は検証改善分析シートを市教委に提出、学校ホームページ	<input type="checkbox"/> ※中期の3月までの取組を実施

		<p>ージで公表</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> (1月)大阪府中学生チャレンジテスト(中1、2)の実施 <input type="checkbox"/> (2月)大阪府中学生チャレンジテスト(中1、2)の結果返却及び分析 	
	次年度以降	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 取組の継続 <input type="checkbox"/> データの一元管理(子どもの学びの履歴)の制度設計 	<p>【IRT】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> モデル校における取組の効果検証 <input type="checkbox"/> 効果のあった取組を全校で実施 <p>【RST】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> モデル校において同一集団で調査実施し、伸びの見られた取組の検証を行い全校で実施 <p>【非認知能力育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> モデル校で取組実施
進捗の状況	前期(～7月)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> (4月)全国学力・学習状況調査(小6、中3)実施 <input type="checkbox"/> (4月)大阪府小学生すくすくウォッチ(小5、小6)実施 <input type="checkbox"/> (7月)全国学力・学習状況調査結果返却及び分析 <input type="checkbox"/> (7月)大阪府小学生すくすくウォッチ結果返却及び分析 <input type="checkbox"/> (7月～)小中学校は各種学力調査等返却ごとに、自校の学力分析を実施し、検証改善分析シートを作成・更新 <input type="checkbox"/> (7月～)小中学校で自校の学力分析に基づいた取組の実施。 	<p>【IRT】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> (5月)モデル校(小5、小6、中2、中3)で調査実施

	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> (9月) 総合的な学力向上に関する説明会実施(各種調査の分析結果、各学校における好事例、IRT・RSTなどの市教委の取組の説明) <input type="checkbox"/> (9月) CBTによる堺市学習・生活状況調査(小3~中3)の実施 <input type="checkbox"/> (9月) 大阪府中学生チャレンジテスト(中3)の実施 <input type="checkbox"/> (11月) 大阪府中学生チャレンジテスト(中3)の結果返却及び分析	【IRT】 <input type="checkbox"/> (8月) 結果返却及び分析 <input type="checkbox"/> (9月~) 国立教育政策研究所等と連携した調査研究 <input type="checkbox"/> (10月~) 効果的な取組を全校で実施 【RST】 <input type="checkbox"/> (9月) モデル校(小5、小6、中1、中2)で調査実施 ※読解力6項目の学校・個人の調査数値と全国比較等 <input type="checkbox"/> (9月~) 調査結果に基づいた取組開始 <input type="checkbox"/> (9月~) 読解力6項目と各種学力等調査の相関について分析 <input type="checkbox"/> (10月~) 分析に基づいた精度の高い取組実施 【非認知能力育成】 <input type="checkbox"/> (4月~11月) 研究内容の検討 <input type="checkbox"/> (11月~) モデル校の選定、非認知能力の育成に関する研究
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> (12月) 総合学力プロフィール(学年・学級・個人)と個人票を小中学校へ提供 <input type="checkbox"/> (12月~1月) 小中学校は総合学力プロフィール(学年・学級・個人)の分析、検証改善分析シートの更新 <input type="checkbox"/> (12月) 小中学校は総合学力プロフィール(個人)や個人票を活用して個人懇談等を実施 <input type="checkbox"/> (12月) 小中学校は検証改善分析シートを市教委に提出、学校力向上プランとして学校ホームページで公表 <input type="checkbox"/> (1月) 大阪府中学生チャレンジテスト(中1、2)の実施 <input type="checkbox"/> (2月) 大阪府中学生チャレンジテスト(中1、2)の結果返却及び分析	【IRT】 <input type="checkbox"/> (12月) 各学校の効果的な取組のヒアリングと実践のとりまとめを行い学校に周知 【RST】 <input type="checkbox"/> (1月~3月) 分析に基づいた精度の高い取組実践のとりまとめを行い学校に周知 【非認知能力育成】 <input type="checkbox"/> (1月~3月) 経年で非認知能力を伸ばしている学校の取組のヒアリングと実践のとりまとめを行い学校に周知
2025 堺市基本計画	該当する 施策	3- (2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値(全国を100とした場合) [現状値 小6 100.5 中3 95.8 (2019年度)]	目標値(2025年度) 小6 103.0 中3 100.0

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに	
	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値（全国を100とした場合） [現状値 小6 100.5 中3 95.8 (2019年度)]		目標値（2023年度） 小6 102.0 中3 98.0